

地区活動

人と人、 人とまちがつながる

目指すのは、人と人が互いに支え合いながら、すべての年代が地域の一員として輝き続けられる社会。
そして、すべての人が住み慣れた地域で健やかに、生きがいを持って生活できるよう、きめ細やかな生活支援の体制を整えています。

健康福祉

いつまでも
いきいきと
このまちで暮らす



香南市では住民自治活動の振興を図るとともに、市民が主体のまちづくりを推進し、市民、事業者、行政が連携・協力してまちづくりに取り組んでいます。

中山間地域においては、過疎や高齢化、また、市街地においても新興住宅地の増加等で町内会設立が難しいことなどにより、集落・地域のコミュニティの状況が大きく変化しています。自治会等の地域単位でのコミュニティ意識の醸成を図るとともに、地域活動への参加を促進し、自治機能の強化を進めています。



そのため、まちづくりにおいて、市民と行政が一緒に考え、取り組むための体制づくりを推進し、市民との情報共有を図り、各地域との懇談会など、市民と行政のコミュニケーションの充実を図っています。

今後も多様化する課題に密着した活動が行えるよう、町内会・自治会・協議会等の活動支援に努め、市民と行政が「協働」で地域課題を解決する仕組みづくりに取り組めます。

と健康づくりに重点を置いています。

各地区の集いの場に高齢者が気軽に集い、体操やレクリエーションを通じて身体的な健康を維持するとともに、周りとの交流と生きがいを生み出しています。



公共交通機関による移動支援

高齢者が積極的に外出したり、買い物や通院をスムーズに行えるよう、移動手段の支援にも力を入れています。

市が運行する市営バス・予約式乗合タクシーにおいて、75歳以上の方・65歳以上の運転免許返納者を対象とした運賃半額制度を設けています。これにより、運転免許証を返納した後も安心して地域内を移動でき、買い物や通院、交流の機会を確保しています。



介護予防と生きがいを育む 地域活動

要介護状態になることを防ぎ、いつまでも元気で活動的でいられるよう、介護予防



包括的な相談窓口と見守り体制
高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活できるように、総合的な相談窓口として地域包括支援センターを設置し、介護、健康、福祉、権利擁護（成年後見制度など）に関する専門的なサポートを一元的に提供しています。
また、地域で孤立させないため、民生委員・児童委員や地域の協力機関が連携し、特に支援が必要な高齢者に対し、定期的な声かけや訪問を実施。異変を早期に察知し、必要なサポートへとつなげる体制づくりをしています。